

レーザー手術による前立腺肥大の治療

【はじめに】

50歳半ばを過ぎた頃から

- ① トイレに行く回数が増えた。特に夜は4～5回トイレに起きます。
- ② おしっこの勢いが弱くなって、キレも悪い。
(排尿の最後は数回きばっていました)
- ③ 冷たい水に触ったり、温度変化を感じると、突然尿意をもよおして、おしっこが我慢出来なくなる。

・・・等々の自覚症状がありましたが、これはきっと歳のせいだと勝手に考えていました。こんな具合ですから、外出するとトイレの場所を確認しておかないととても不安でしたね。(^_^)

そして、ある年の健康診断で前立腺がんの検査（オプション）も希望したところ、前立腺がんのマーカーであるPSAの値が基準値をやや越えているとの結果を受けましたので、直ぐに病院で精密検査を受けたところ、ガンではなく前立腺肥大症との検査結果で“ほっ！”とする・・・(^_^);

以後、数年間投薬治療を受けていましたが、主治医から手術も視野に入れる様にと言われましたので、少しでも早い方が良いと判断して今回、北播磨総合医療センターで手術を受けました。

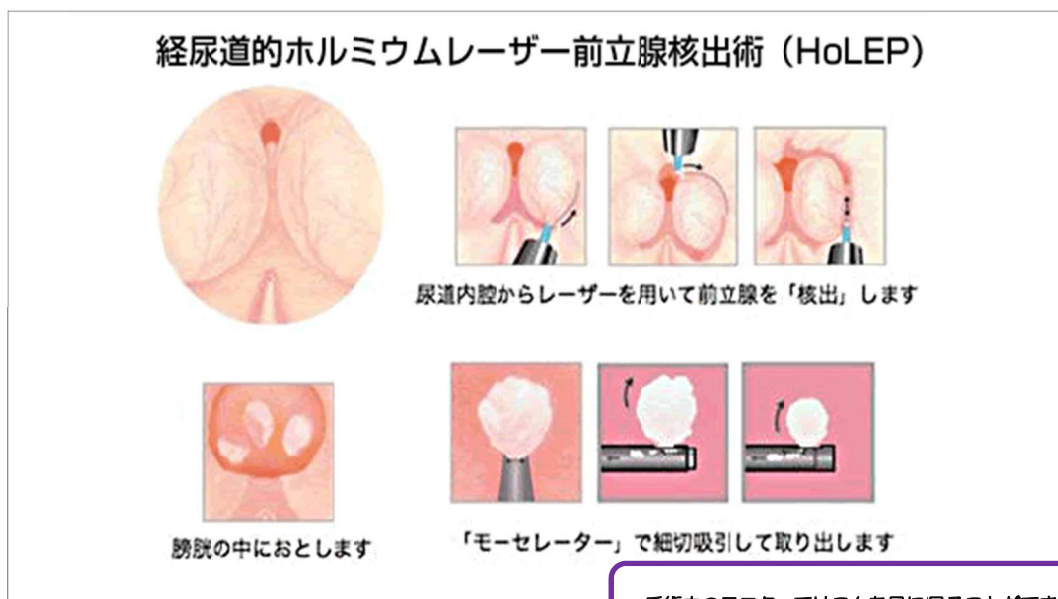
前立腺肥大症の手術は尿道から挿入したレーザーで患部を切除するもので、体への負担が少なく、退院も早いと主治医から説明を受け、自分でもインターネットで調べましたが、主治医の説明と同じ様な内容でした

そもそも怖がりの私は、腰痛麻酔の痛さ（以前経験あり）、手術の間はどうしているのか&痛みはどのぐらいか、手術後の治療内容&痛さは？・・・手術を受けると、これまでの頻尿の悩みが解消されるのか・・・等々について知りたかったのです。

ネットでは自分が知りたい内容の記載が無かったので、今回の手術で体験した内容を同じ悩みを抱える同胞のために、書き記したものです。

治療を受ける施設によっては治療内容が若干異なるかも知れませんが、ほぼ同じ様な手術&治療水準と思われるので、前立腺肥大症で悩む方々の参考になれば幸いです。

私が受けたのはイラストのレーザーによる手術です。



【1日目】

- ① 午後2時：北播磨総合医療センターにて入院手続き。
- ② 部屋（個室をお勧めします）に入り、施設の案内&説明を受ける。
- ③ 6時30分：看護師から手術前後の説明を受ける。
 - ・手術開始時間⇒明朝の9時から
 - ・麻酔の説明⇒脊椎麻酔&注射時の姿勢と心構え
 - ・施術中のモニターを見る事が可能
 - ・希望があればBGMも用意できる
 - ・当日はT字体（ふんどし）&前開きの寝間着（ゆかたの様なもの）をベッドに用意しておくのですが、一般のお店では中々見つかりません。
病院の売店で入手した方が安くて、必要量を何時でも購入出来ます。



③ 点滴用の針を装着。

★明日に備えて点滴の準備



売店で購入

④ 21時30分下剤服用。

【2日目】

① 7時ぐらいに浣腸（子供の頃に経験した事以来でした：笑）



② 8時50分：手術室に移動

- ・手術室に入る前に名前&どこを手術するかの質問（確認）があり、その後、徒歩で手術台に行きます。
- ・手術台に横たわると、使い捨ての帽子、血圧&脈拍計、血流計等を装着。
- ・裸のため、防寒対策として、上半身に温かい空気が送られて来ると、タオルの様なものを置いてくれます。
- ・2名の看護師さんで常に異常が無いが、細かく気配りしてくれました。
- ・手術台では出産時の様に両足を広げて器具に乗せ、膝を折った体制です。
- ・恥毛は剃りませんでした。（本では剃ると書いたものもあります）
- ・モニターが2台あり、1つは血圧&脈拍、血流や酸素濃度等々の数値が同え、もう1台のモニターは内視鏡に映る映像が映しだされていました。
- ・手術中は BGM を聴く事ができて、広いジャンルが用意されていますが、機械の音の方が大きいので気休め程度かなあ～（笑）

③ 9時10分：麻酔開始

- ・脊椎麻酔は痛いので、麻酔のための局部麻酔をします。普通の注射ぐらいの**ピツとする程度の痛さ**でした。（予想していた痛みの心配はなし！）
- ・脊椎麻酔の時は看護師が覆いかぶさった様な格好で頭と足を持ってエビの様に体を丸く固定してくれます。この体制により注射針が確実に的を得ているかを判断するのです。（この時点で最初の局部麻酔が効いており、**痛みは全く感じません**）

- ・麻酔直後から足先の感覚が無くなってきます。10分もすれば腰のあたりまで感覚が無くなり、冷たいものやゴワゴワしたものを当てて麻酔の効き具合を確認します。

④ 9時40分：手術開始

- ・“ふっ”とモニターを見ると、既に自分の尿道が写っていました。あれ？いつの間に尿道に管を入れたのかなぁ〜？と思うぐらい、**痛みや挿入時の感覚は全くありませんでした。**
- ・手術中の様子（レーザーで切り取っている）は全てモニターで確認する事が出来ますので、私はほぼ全行程を見ていました。
- ・10時40分、肥大した前立腺の切り取り終了（ここまで約1時間です）



⑤ 切り取った前立腺の回収

- ・膀胱内に一時保管した前立腺の破片を、先端にクラッシャーがついた様な機器（モーセレーザー）でミンチ状（の様な）にして吸引しながら回収します。
- ・11時5分に回収完了（約20分間です）

⑥ 11時10分；最終的に傷口をヒーターで焼き整える。

- ・レーザーで切り取った部分の出血はほとんどありませんが、切り取り後の表面全体が白くてヒラヒラとしたササクレ状態になっているため、ヒーターできれいに整えている様でした。
- ・11時30分手術終了後、3人がかりで手術台から病室より迎えに来たベッドに移動し、これに乗り換えて部屋に帰ります。
太っていると移動が大変なので、痩せてから手術を受ける事をお薦めします・・・(笑)

- ⑦ 病室では点滴2種類（血管用、膀胱用）、心電計、止血用膀胱内バルーン（膀胱内に風船を入れて外から引っ張ります）、フットマッサージャー等々を装着します。手術開始からず〜と上を向いたままなので腰が痛だるい。



★写真は膀胱内に入れた止血用バルーンを固定するために引っ張っている様子（痛みはない）

- ベッドに長く寝ているとエコノミー症候群の様な血栓が出来るので、加圧靴下とエアーマッサーを装着します。

★写真は加圧靴下の様子



- 腰が痛い時は看護師さんに告げるとマットを貸してくれますし、何でも遠慮無く相談することです。
- 以後、麻酔が徐々に切れてきますが、痛みは思ったほどありませんでした。

- ⑧ 16時から飲み物のみ許可される。
- ⑨ 16時30分、足先の感覚が徐々に戻ってきますが、それとともに尿道の奥に痛み（ヒリヒリした様な痛みで、すごい痛みではない）を感じるようになってきたので痛み止めを処方してもらう。（遠慮・我慢は必要ない！）
- ⑩ 18時頃には完全に麻酔が切れるが、痛みはそれほど感じません。
 - 手術以来、ず～と上向きのためにやはり腰が痛だるい。
 - かなり長い間絶食しているが、極端な空腹感がないのも不思議！

【3日目】

- ① 9時頃に担当医の回診
 - 止血用の膀胱バルーンが解除になる（これで少しは楽になった！）
 - 血栓防止用のフットマッサージも外れる。
 - 明日から室内歩行開始の予定（メチャめっちゃ嬉しい！（*^^）v）
- ② 9時30分；やっと40時間ぶりの食事にありつく。
 - 丸パン2個、牛乳、ジャム、ポテトサラダ、キウイ3切れ。
- ① 夕方、点滴用の針が外れたので、体を動かす事が随分楽になった。



【4日目】

- ① 歩行が許可されたが、膀胱まで管を挿入しているので、ベッドから立ち上がる時と、歩く時は尿道に違和感と若干の痛みを感じた。

② 便器に座るも、きばる事が難しい。きばると血尿が激しく出るので下剤をお願いした。

③ その時の尿&膀胱洗浄液の色は写真のとおり。



【5日目】

① 6時30分起床

② 本日は手術から72時間が経過。体も本格的に再生を始めるだろうな。

③ 主治医の回診で、22日に尿道の管を取る予定とのこと（管を取るとシャワーが出来るんや！超嬉しい!!!）

【6日目】

① 10時40分頃に主治医の回診、日曜日でも関係無いハードな仕事ですね。私達は感謝です、ありがとう！m(_ _)m

② 今のところ問題ないので、明日には管が抜けるとのこと。この時点でも、尿道のヒリヒリ感はまだまだあります。

【7日目】

① 6時にワクワクしながら起床！（^^ゞ



② 7時40分朝食。

★この装置で24時間膀胱内を点滴している ⇒

③ 8時50分頃に回診があり、尿道の管を抜く。

- ・まず膀胱点滴（写真右）を尿道入り口の管から外す。
- ・その後、膀胱内部を洗浄するために管から洗浄液を入れるが、瞬間的でも膀胱に響いて結構痛かった。（^_^）



- これからは水分を摂る事、トマトジュースや赤ワインの様な尿が出ると、再度管を入れ直すとのことですが、それだけはゴメンやわっ！
- 以後、おしっこのはきはばらなくてもスゴイ勢いで出ました。多分10代、20代の頃の様にね (*^^)v

④ 9時、待望のシャワーを浴びる！＼(^o^)/ うわぁ～スッキリした！

⑤ 午後、再度主治医の回診があり、退院は24日（水曜日）の予定になる。

⑥ 今回の手術について主治医に質問した所、この様な回答を得ました。

- 62g 摘出したので、内側をほぼ切り取っている。（通常は15g程度）
- この手術は10年ぐらい前から実績があり、まれに再発する人もいるが、ホントにまれである。
- 今後の健康診断で PSA を測っておく事。勿論、今回も測定するが数値はかなり低くなっている。
- 通院は来月、それから1ヶ月後と3ヶ月後ぐらいの3回程度で良い。

⑦ なお、手術後から尿道の管を抜くまでは毎日看護師さんから下半身を拭いてもらいますが、手術が終わった段階からは羞恥心も無くなっており、特に気にする事ありませんでした。



【8日目】

- ◆ やっと退院＼(^o^)/・・・しかし、出血が止まるまで無理は禁物(^_^;)
- ◆ 会計は健康保険を利用して、約155千円でした。（私の場合は個室を利用しましたので、その分は高くなっていますが、やはり個室はお勧めです）

【9日～13日】

- ◆ 血尿&尿道のヒリヒリ感は続きますが、徐々に薄れていくのが分かります。
- ◆ 座る時は **ドーナツ型の座布団**が**お勧め**です。これは尿道に圧迫を加えない様にするためです。

【14日目】

- ◆朝起きてトイレに行くと血尿が薄くなりました。赤い色が確認できないぐらいの色で、通常よりも濃い色の尿になりました。
- ◆この時点でも下腹部に力を入れると、出血するのでまだまだ無理は禁物です。
- ◆夜トイレに起きる回数が1回ぐらいに減りました。手術前は4～5回起きていましたから、大変楽になりました。

【20日目】

- ◆出血はかなり無くなりましたが、腹筋に力を入れると少しですが出血します。先生から1ヶ月間は無理しないようにとのアドバイスがありましたので、2年ほど続けている加圧トレーニングは暫くお休みです。
- ◆この時点でも昼夜のトイレの回数が減りました。手術前の半分以下になっており、出先でトイレの場所を確認する事も無くなり、特に夜は1回程度になっています。

【終わりに】

- ◆今回、早めに手術を決断したのは良い判断と思いました。これまで頻繁にトイレ通っていた回数がどれぐらいに収まるのか、楽しみでもありましたが、その効果は抜群です。トイレは1日7回ぐらいです。
- ◆おしっこする時の爽快感は10～20代ぐらいでしょうか、すごい勢いで出ますし、キバル事も必要ないぐらいです。公衆トイレでは誰よりも早く済んでしまいます！（笑）
- ◆事前の説明や入院中について、分からない事は主治医の先生に遠慮無く質問＆相談しましょう。
- ◆看護師さんには24時間お世話になりますが、分からない事や困った事は何でも相談しましょう。どんな時でも親切に対応してくれます。



- ◆薬剤師さんもベッドまで来て、色々な相談にのってくれます。
- ◆入院した病気以外でも、診察してもらう事が可能です。動けない時はドクターにベッドまで来てもらえます。
- ◆人生初の手術&入院でしたが、安全で安心して任せられる日本の医療水準、医療体制を実感した次第ですが、スタッフの努力に支えられている部分が多いことにも実感しました。
例えば、土・日祝日も主治医の回診はあり、夜中はナースコールがしょっちゅう鳴って通常の作業を加えると、休む時間も無いと思われました。



以上、全て私の実体験からの感想です。

手術前に自分が知りたかった内容を網羅したつもりですが、日々の看護師さんの仕事については、細かな所を省いています。

また、記述中の専門用語やその他間違いが有るかと思いますが、何分にもご容赦ください m(_ _)m

神戸 哲雄